



マリアン

第30号

発行 京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成12年4月5日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
TEL/075 701-9149

二〇〇〇年を迎えて



会長 白井君子
(I E)

二〇〇〇年という新世紀を迎え、この会報が皆様のお手元に届く頃には、四ヶ月が過ぎようとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年六月に会長という大役をお引き受けして初めての同窓会総会をもとうとしています。私事になりますが、第一期卒業生は三十五周年を迎えます。この間にそれぞれの人生を歩み、今日健康に二〇〇〇年を迎えられる事に喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。同窓会活動も一つ一つ新たな発展をし、各クラスの開講、ボランティアグループ、国際交流、マリアンハウスオープンとありました。

二十一世紀に大学も大きく変わろうとしています。又一つ新しい歴史が刻まれようとしています。四月に新会員三四五名を迎え、同窓会も大世帯となりました。関東及び中部支部も充実し皆様の御協力に感謝致しております。十年ひと昔という時代から今や一年一年世の中は加速的に進んでいます。全ての物が機械化され、コンピュータ、FAX、Eメールと良いにつけ、悪いにつけ夢のような世界へ突入しています。大学は時代にあった学部や学科又学生達を要求し私達大人は世の中に送り出す子供達を注意をもって育てると共に、私達自身の姿勢ももっと正さなくてはなりません。世界中には飢餓に苦しみ、戦火の中に生活をしていられた子供達が多勢いる事をも思いやらなくてはなりません。皆様も少し時間のゆとりが持てるようになった時、どうぞ大学やマリアンハウスをおとづれる機会を作ってみて下さい。皆様のそれぞれの御活躍、御発展と共に、御健勝であります事をお祈り申し上げます。

祝御入会

本年度は、英語英文学科二四〇名、生活文化学科一〇五名が三月九日にご卒業になり、同時に第三十六期の同窓会員となりました。

ご入会を心より歓迎いたします。現在までの卒業生総数は八九四三名です。学年委員は次の方々です。

望月裕美子様(英)・二保 友美様(生)
中村 由佳様(英)・野瀬まり子様(生)

目次

2000年を迎えて	会長 白井君子	1
胸の中に<言葉>を	学長 梶田敬一	2
変わるものと変わらないもの	顧問 Sr.セリン松本	2
いよいよ四学科体制の船出	学長 梶田敬一	3
マリアン国際奨学基金のお知らせ		4
同期会だより		4
総会のお知らせ		5
総会報告		6・7
21世紀の国際社会に生きる子供達へ		8・9
ND女子大学40年の歴史を通して		
女性の役割とは	座談会	10
アクティビティー便り		11
同窓会短信		12・13
支部だより		14
マリアンハウス報告		15
同窓会アクティビティーご案内		16

題字はSr.セリンにお願いしました。

胸の中に〈言葉〉を



学長
名誉顧問
梶田 毅一

「オーム・マ・ニ・パッド・メ・フム」。
カトマンズのチベット仏教の総本山を訪ねた時、僧侶にもらった紙に刷られていたマントラである。言葉のシンボリックな意味は「黙思・忍耐・規律・知恵・寛容・勤勉」であるが、邪気を払い、幸せを祈る時に用いられる言葉であるという。

案内役の国立トリブヴァン大学院大学の学生ブロカス君は、古い仏教寺院を訪ねるたびに、仏像の前でこの言葉を唱える。彼は、もともとヒンズー教徒だけれど、宗派なんかにはこだわらないし、古くさい宗教は何であれ嫌だと言う。ネパールも社会の急速な近代化の中で、欧米や日本と同じような世俗化（脱宗教化）が進んでいることを感じずにはいられない。

そう口にする彼なのに、仏像の前では「オーム・マ・ニ・パッド・フム」である。「胸の中にこの言葉がいつも生きています」と、そして「この言葉には何の宗派色、宗教色もありませんよ」と彼は言う。

私達の胸の中に果たして、目先の世俗的なものを越えたシンボルとなる言葉が常に生きているのだろうか、つい思ってしまう。胸の中で対話しつつ目先の世俗的なものを越えたところに思いを致す習慣ができていたのだろうか、と思うのである。「南無（「全てをお任せします」、阿弥陀仏（「絶対的な存在」）でもいいし、「神よ、御心のままに」でもいいし、「色即是空、空即是色」でもいい。何かを胸の中で口ずさんでいなければ、目先の利害得失にのみ我々の思考が行ってしまうのではないか、と恐れるのである。

変わるものと変わらないもの



顧問
英文学科教授
Sr.セリン松本

二千年四月より大学は改組されました。この変化は再創立とも言えるもので、ここに至るまでの過程は、産みの苦しみのようでした。

三十九年前の創設の時も、実は、不可能に近い困難が色々あったのです。基金はなく、土地建物もない「無」同然のところからの大学設立については、母体である修道会の長上ですら容認し難いことで、父兄からの切望が

あったものの危惧されるばかりでした。しかし、かえってそれによって奮い立った熱意ある多くの学識経験者、有力な財界の方々は、心血を注ぎ犠牲を払って、見事に幾多の難関を突破し、一九六一年に、不可能なところから大学創立を可能にして下さったのです。

これらの恩人方、創立関係者の脳裏にあったものは、京都の閑静なところに、女子大学をつくり、そこに集う者が学問にいそしみ、出会いを通して交わりの喜びを体験し、愛と希望をもたらしキリスト教の価値観を身につけた教養ある女性、社会に貢献できる女性になって欲しいというひたすらな願いでした。

この草創期の思いは、今日までの三十九年間、多くの卒業生の生き様に結実となって現れています。今まで変わることなく受け継がれてきたスピリットが、これからも生き続けなければ、新たにされた大学は砂上の楼閣になってしまいます。私の願いは、草創期の精神が時代の変化に呼応しながら、更にふくらみ、開花していくことです。大学が未来へと前進する時、かつて注がれたと同じ暖かく熱意ある支えが必要です。創立当初の恩人に代わって、学外の多方面でその大切な役目を果たしてくださるのは、大学ファミリーメンバーである卒業生の皆様ではないでしょうか。それぞれ与えられた場で活躍下さることを期待しています。今年は、キリスト降誕二千年の大聖年です。神の恵みと慈しみ、希望と喜びが皆様一人一人の上にありますように。

いよいよ四学科体制の船出

学長 梶田 叡一

一九〇〇年代最後のクリスマス、大きなクリスマスプレゼントが私たちの大学に届けられました。文部大臣の名前で12月22日付三学科（人間文化学科・生活福祉文化学科・生涯発達心理学）の新設を認可する、という文書です。同時に英語英文学科の入学定員の削減も認可されました。

公的には（まだ学生の居ない学科もありますが）、この認可の日をもって新しい四学科が発足することになりました。（認可の日付で新しい4人の学科長が就任されました）。これによって、従来の二学科体制でなく新たな四学科体制で、教育と研究の活動を進めていくこととなります。入学志願者も全国から多く来る見込みで（従来よりもずっと多くの願書請求が各地から来て居ます）、教職員一同、新しい門出に向かって、新しい意気込みで前進する決意でおります。

世の中の状況の変化に伴って、女子高等教育が目指すべき方向も変わっていかざるをえません。女性がさまざまな生き方を選択できるようになった現在、昔のように「教養ある家庭人」の養成だけを目標していくわけにはいきません。大学卒業後何かの職につくのは常識になっていきますし、結婚してからも、子どもが生まれてからも自分の仕事を続けていくのは、今の若い女性にとっては当然のことになっています。だから精神的にも自立し、職業

的にも自立し、社会的にも自立した女性の育成ということ、昔以上に考えなくてはならなくなっているのです。

そして、そうしたさまざまな意味での自立は、男女共学の大学より、女子大学の方が育てやすい、という調査結果が、アメリカなどで最近数多く出されているのです。

新たな京都ノートルダム女子大学は、こうした変化を十分に踏まえて門出をするつもりです。四学科体制の中で、これまで以上に、社会に出てから必要となる専門知識や基礎技能、社会的資格を身につけていけるようになります。そして、今年度から始まった一回生と二回生の教養ゼミなどを通じて、入学当初の段階からきめ細かな少人数指導が可能になりつつあります。そして、シスター岩井にキャンパスミニスターとして来ていただいたことによって、従来からのキリスト教文化研究所の活動と合わせ、宗教的な情操の教育、内面的自立への教育が、一層進展していくものと考えています。

もちろん、まだまだ課題は山積しています。しかし、教職員が一丸になって取り組んでいけば、どんな難問であろうと突破するのは可能だろうと（楽観的に）考えています。

卒業生の皆様におかれましては、大学のこうした新しい状況について、ご理解とご支援をよろしく願います。そしてお気づきの点は何なりと、私までお知らせいただければありがたいと思います。

2000

40年の歴史の上に、新しいノートルダムがはじまります。

英語英文学科

Department of English Language and Literature

本学の英語英文学科では、次世代の要請に応えるべく「英語を教養する」に止まらず基本からより高度な応用までの会話・読解はもちろん、多面的実践的に少人数個人指導、充実したカリキュラム、学生の自由な選べるカリキュラム、専門技能の取得バックアップ等をおこなう。

■ 入学定員
110名

■ 領域・コース（3年次より）

- 英語圏文学・文化（英米を中心とする英語圏の理解の研究など）
- 英語学（社会・文化の面から「ことば」の研究など）
- 英語スペシャリスト（英語スペシャリストの養成など）

新学科

人間文化学科

Department of Human Culture

わが国固有の伝統文化の理解と、それに影響を与えた異文化の理解を深め、人格を陶冶する精神教育をあわせておこなう。また、わが国の直面しつつある環境・家族問題などの今日的課題に女性として対処しうる教育内容を提供する。学生は、高学年になると3つの領域に分類して、それぞれの領域について考究する。

■ 入学定員
45名（留学生定員5名含む）

■ 領域・コース（3年次より）

- 現代人間・社会（女性学、キリスト教人間学など）
- 交流文化（比較文化、東西文化交流史など）
- 芸術学（西洋美術史、西洋音楽史など）

新学科

生活福祉文化学科

Department of Life Welfare Culture

この学科では、人間がよりよい生活を維持するために「こころ」「くらし」の調和に目標を置いて、生活学の基礎を学び、くらしと社会福祉のこころと実践、知識と技能の統合を図る。

■ 入学定員
90名

■ 領域・コース（3年次より）

- 生活文化（衣・食・住から見た人間、家庭生活など）
- 生活福祉（福祉から見た人間、家庭生活など）

新学科

生涯発達心理学科

Department of Life-Long Developmental Psychology

生涯を通じての発達を軸として、教育心理学、臨床心理学を結びつけ、一方に偏らない幅広い心理学教育と、しっかりした心理学の研究方法を身につけた上で、学校心理学領域、発達心理学領域、臨床心理学領域のいずれかを将来目標と関連させながら選択履修させる。

■ 入学定員
115名

■ 領域・コース（3年次より）

- 学校心理学（教育心理学、学校心理学など）
- 発達心理学（乳児、幼児から児童、青年、老人まで）
- 臨床心理学（臨床心理学への基礎コースなど）

「国際交流事業基金」寄付についてのお知らせ

二〇〇〇年四月より四学科設立にあたり、留学生受け入れのための基金協力の依頼が大学からありました。母校発展のため、同窓会としても支援いたしたく、役員会にて慎重に審議の結果、同窓会より基金として三百万円を寄付する案にままりました。総会にて議案として提案されますので、ご欠席の場合は必ず委任状をご返送下さい。

※留学生一名一年分の学費寄宿費は約三百万円、二〇〇〇年度は五名入学の予定です。

また二〇〇一年には、創立四〇周年記念としてマリアン・スカラシップをより充実させ留学生のためにも資金援助をする「国際交流マリアン奨学基金」を設立する予定です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一期卒の皆様へ

大学を卒業して35年がたちました。これを記念して岡崎公園近くの白河院にて、今年11月26日(日)に学年同窓会を開きたいと思えます。お泊まりにになりたい方も受け付けます。できるだけ多くの方に参加していただきますよう、お知らせ致します。尚、詳しくはハガキでご案内申し上げますので、必ずご返信お願い致します。

一期卒学年委員

吉川照子

藤田祥子

卒業三十周年同窓会に参加して

佐々木律子 (5E)

十月十一日、五期生が卒業三十周年を記念してマリアンハウスにて、同窓会が開催されました。増築された新校舎の見学を兼ねて大学に集合致しました。シスターメリーアンがお変わりのない優しい笑顔で私達三十二名を迎えて下さり、学長秘書の西村さんと共に校内を案内して下さいました。「京都ノートルダム女子大学」と改名され、又学部も増設されることを伺いました。立派になった校舎を見て、母校の発展を祈らずにはおれません。

見学後、マリアンハウスに移り、懐しい同級生の皆さんは、すっかり学生時代に戻り、同窓会館で時間を気にすることなく、食事とたくさんのおしゃべりを楽しみました。穏やかな小春日和に恵まれ、楽しい企画をして下さいました幹事の皆さんに感謝し、次回、五年後の再会を楽しみにして散会となりました。今回参加できなかった方も、五年後の案内を楽しみにして下さい。



「同窓会会員名簿発行についてのお知らせ」

同窓会会員名簿は五年に一度発行しております。

今回は二〇〇〇年十二月に予定しています。

今までは会員全員に配布しておりましたが会員数が約九〇〇名と増加し、代金の回収も困難となり、会員全員にお届けする事が不可能になってまいりました。その為、今回より希望者のみに購入していただく方法に切り換えました。

皆様に購入していただける様補助しております。代金は二六〇〇円です。

後日発送しますハガキを購入の有無にかかわらず必ず御返送下さい。

尚、住所変更の場合は何期卒、会員番号(封筒の表)、氏名、住所を学年委員又はマリアンハウスへ必ず御連絡下さい。皆様どうぞ御協力よろしく
お願い致します。
(役員一同)

六期生三十周年記念同窓会のお知らせ

初夏のまぶしい日ざしに緑輝やく候、皆様如何お過ごしでしょうか。

この記念すべき年にあたり、今迄参加されなかった方が一人でも多く御越し下さいますよう御願致します。

日時 平成十二年六月四日(日)

場所 鹿ヶ谷山荘

TEL 〇七五-七五一-二三〇四

11時30分より永観堂、銀閣寺散策予定

参加費用 八、〇〇〇円

幹事 代表 羽野公子

岩手令子・菊池由子・今井つや子

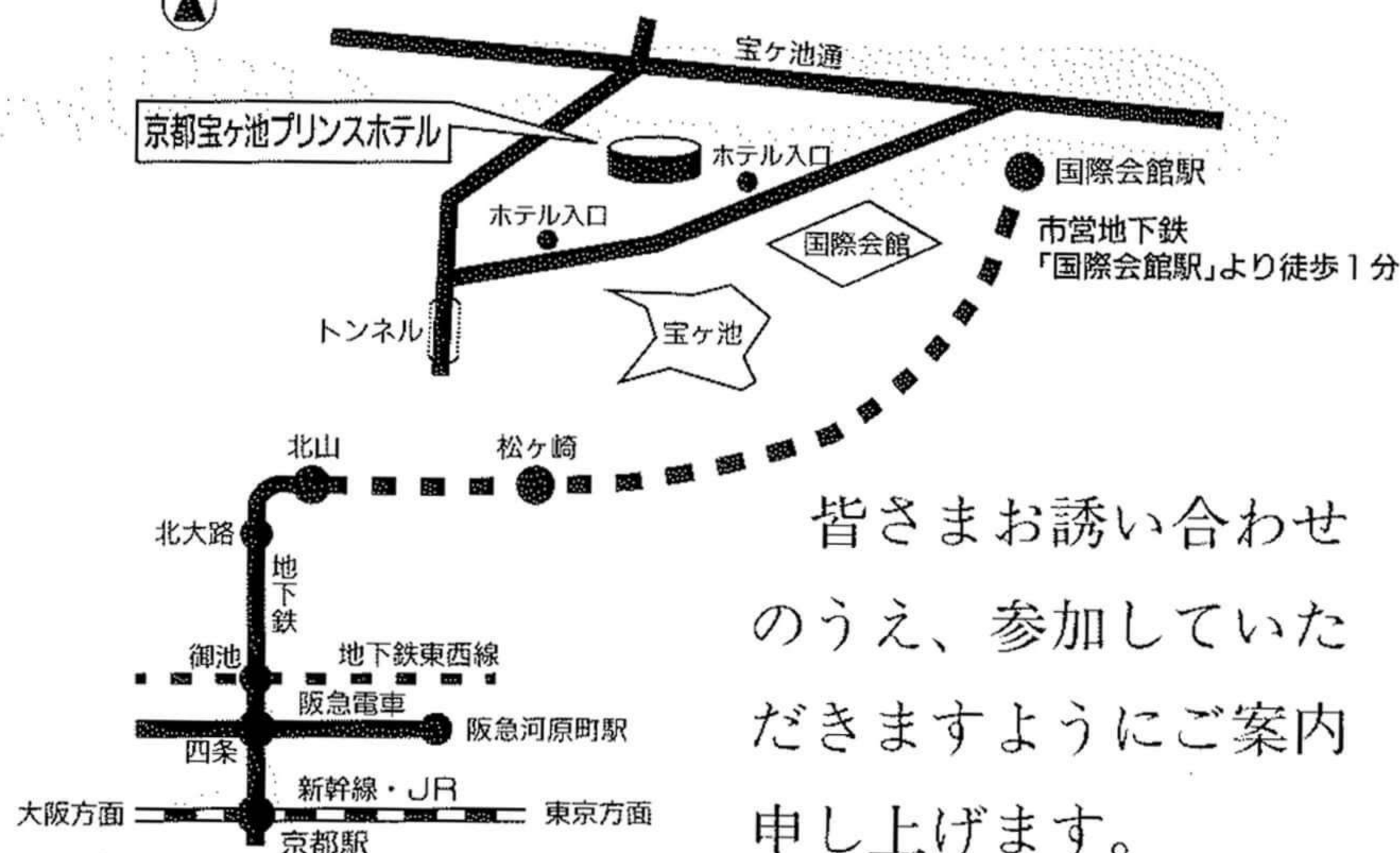
平成12年度

第36回 総会のお知らせ

日時 5月28日(日) 午前11:00 (受付10:30)
場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」
地下鉄「国際会館」下車 TEL 075-712-1111
会費 7,000円 (当日徴収) 子供は1,500円
(ベビーシッター有り)
ミニコンサート 戸上 靖彦 氏 トロンボーン演奏



会場付近図



皆さまお誘い合わせ
のうえ、参加していただ
きますようにご案内
申し上げます。

祝周年

三十五周年	三十五周年	三十五周年	三十五周年	三十五周年
二十六年生	二十六年生	二十六年生	二十六年生	二十六年生
二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生
二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生
二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生	二十五年生

戸上靖彦氏プロフィール

一九三九年 福岡県生まれ
一九六一年 京都市交響楽団 入団
一九六六年 京都市交響楽団 首席奏者就任
一九六八年 渡米 ジュリアード音楽院入学
一九八七年 関西トロンボーン協会 発足

同窓生のみなさん、こんにちは。
今年度の総会のお手伝いをさせていただきま
す、19期生の宮澤紀恵と安達美保です。
今回のミニコンサートにお招きすることに
なったのは、京都市交響楽団・トロンボーン
首席奏者の戸上靖彦さん。戸上さんは40年余
り京都市交響楽団の首席奏者をつとめられる
一方、ライフワークとして黒人霊歌のご研究
もされている方です。一般的にトロンボーン
のソロというあまりなじみがないかもしれ
ませんが、テクニクだけでは語れない、ホ
ットするようなやさしい音。
デジタル化が進み、街じゅうを電子音が飛
びかう中、奏者の息づかいまで感じられるよ
うな生の音を、じかに心で受けとめる、そん
なひと時をご一緒できたらと思ってお招きし
ました。
いつも会いたいと思いつながらなかなか機会
のないお友達に、ぜひこの度をきっかけに一
度お電話してみてください。総会の時お会いで
きるのを楽しみにお待ちしております。

第35回 総会 報告

風薫る五月はノートルダム（我らが母）聖母の月、第三十五回総会は、初夏の陽光に緑深まる宝ヶ池プリンスホテルにて、5月30日、14名のシスター、先生方をお迎えし、同窓生一一〇名が集いました。

帰天なさった方々の御冥福を祈って黙祷を捧げたあと、会長挨拶、学長ご挨拶、顧問のお話に続いて活動報告、会計報告、新年度の予算案、同窓会規約の一部改訂、ならびに新役員の承認をいただきました。

同窓会会員寄贈品バザー、本部及び中部支部手芸ボランティア作品の収益金を「インド友愛の手」と「ネパール・サポート」への教育援助金として各々に15万円贈呈しました。

総会後は18期生企画のミニコンサート、ソプラノ声楽家日下部祐子さんの独唱によるシューベルトのアヴェマリア、箱根八里、ガーシュインのサマータイム他にしばし心静かに耳を傾けました。ボランティアグループによる手芸作品も好評で学歌斉唱後、盛会のうちに終わりました。役員一同心から感謝申し上げます。



平成10年度会計報告

自：平成10年4月1日
至：平成11年3月31日

収 支 報 告

収 入 の 部		支 出 の 部		
費 目	決算額	費 目	予算額	決算額
前年度繰越金	25,469,560	総 会 費	600,000	442,540
終 身 会 費	10,140,000	マリアンスカラシップ	1,200,000	1,133,000
預 金 利 息	61,498	マリアン発行費	1,700,000	1,267,418
マリアンスカラシップ返済金	731,000	卒業記念費	600,000	566,175
クラスアクティビティ参加費	185,000	クラスアクティビティ	1,000,000	790,000
名簿代金	12,090	支部活動・援助費	450,000	385,000
		会 議 費	500,000	98,240
		交 際 費	200,000	251,383
		通 信 費	300,000	186,725
		事 務 費	300,000	92,916
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		小 計	8,850,000	7,213,397
		次年度繰越金		29,385,751
合 計	36,599,148	合 計		36,599,148

左記の通り決算報告申し上げます。

会 計 小笹 依子
小 亀 峯子



本決算を審査の結果、
収入支出いづれも適正で
あることを認めます。

会計監査 今井喜代子



平成11年5月30日

平成十一年度 活動報告

五月

第三十五回総会（京都宝ヶ池プリンスホテル）総会終了後関東、中部支部委員との合同懇談会

手芸ボランティア活動開始

各種クラス春期開講

六月

ステンドグラス講習会（マリアンハウス）
スタンド作り

八月

ノートルダム学院小学校創立四十五周年記念同窓会参加

九月

トールペインティング講習会（マリアンハウス）ウェルカムボード

関東支部総会出席

十月

各種クラス秋期開講

マリアンハウスオープンデー（バザー、喫茶、作品展示）

マリアンスカラシップ一名に貸与

十一月

学長様との懇談会（留学生受入れの為の基金作りの協力）

大学祭バザー参加（チャリティバザー寄贈品販売）

大学関係物故者合同追悼ミサ参加
絵手紙講習会（マリアンハウス）

十二月

クリスマス講習会（マリアンハウス）フラ
ワーアレンジメント

ノートルダムクリスマス（ユニソン会館）

各種クラス冬期開講

三月

同窓会新入会員への説明会

平成十一年度会計決算報告書作成

第三十六回大学卒業式列席

四月

平成十二年度大学入学式列席
平成十二年度予算案作成

会報「マリアン」第三十号発行

総会準備・役員会通算第二十回

総会において承認新役員紹介

会 長 白井 君子（高田1E）
副会長 本多 ゆり（佐伯2E）

書 記 高木 里美（小坪3E）
小 亀 峯子（杉本3E）

会 計 松本美佐代（鳥原3E）
藤山 祥子（葛川1E）

庶 務（広報）小笹 依子（島津6C）
栗原 英子（上田2E）

（名簿）大田喜代子（森4E）
田畑八千代（村瀬6C）

中田山利子（小谷13E）
人長久巳子（東7C）

中 島 克子（長谷川1E）
久萬田澄子（沢田1E）

会計監査
マリアンハウス
管理運営委員



来る6月 姉妹大学より 留学生来日！

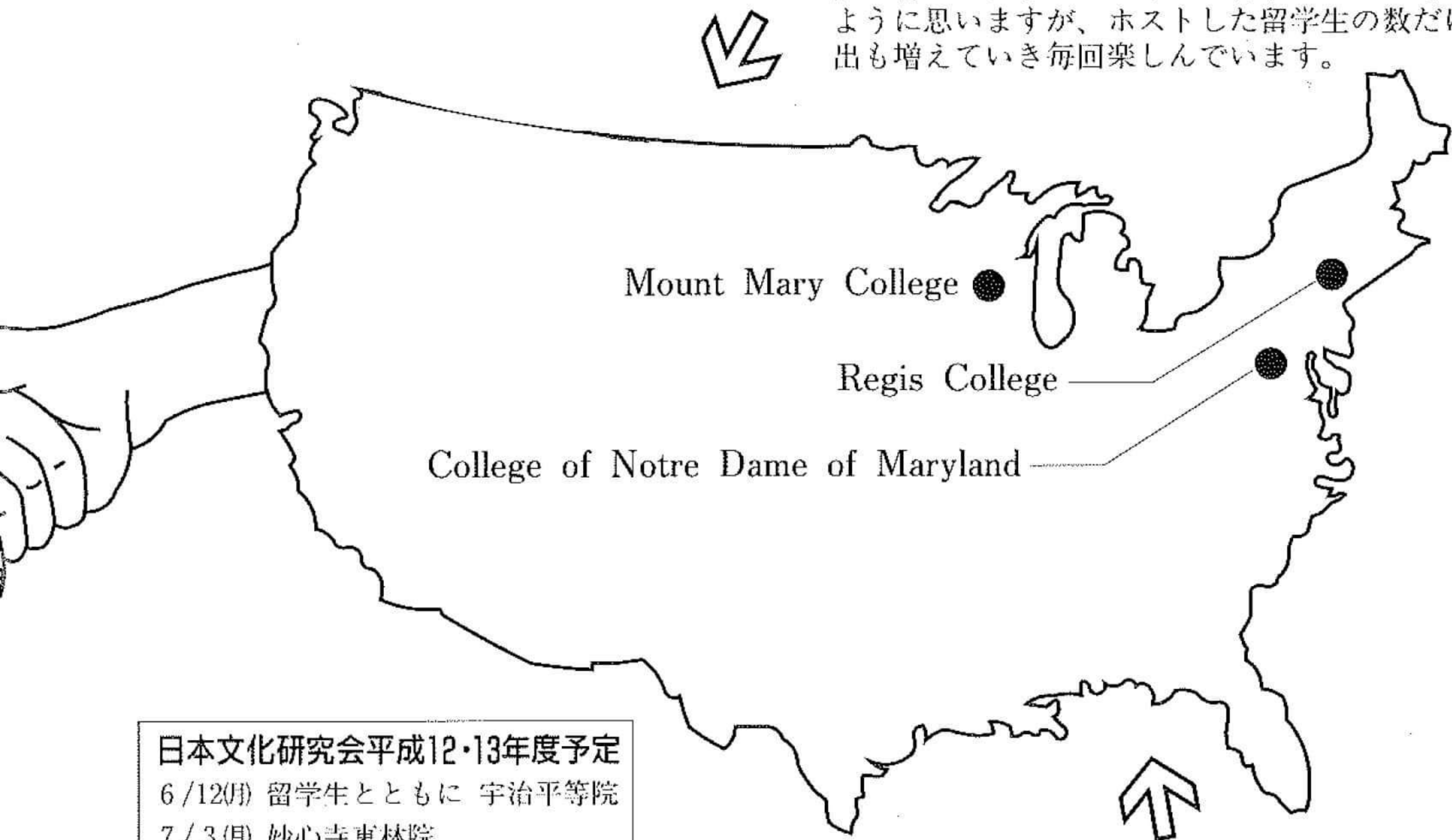
5 / 25 ~ 6 / 21

国際交流ボランティアに参加して

25期 井口 尊子

最初に、国際交流に参加させていただいたのは、三年前で子供がまだ二歳のときでした。子供にまだ手がかかる時期で不安を抱えながらの留学生受け入れでしたが、私の心配をよそに、膝の上で本を読んでもらったり、一緒にプリクラを撮ったりと、子供はすぐにうち解け、又留学生の方もベビーシッターをしてくれたりしました。幸い家には幼児用の絵本やひらがな表があり、留学生たちは、これを使って勉強していました。ある時は、子供の発音をそのまま覚えてしまったために、「カラス」を「カラシュ」と思いこんでしまったというハプニングもありましたが……。

『楽しかったな』と思う反面、留学生の質問に的確に答えられなかったりと反省することの方が多いように思いますが、ホストした留学生の数だけ思い出も増えていき毎回楽しんでいます。



文化の薫り高く

2期 大隅万佐子

誰でも一カ所や二カ所長年行きたいと思いがら、それが実現できてない場所があるのではないのでしょうか。私の場合は二条陣屋がそれでした。同窓会に日本文化研究会と言うものがある事も知らなかったのですが、その会の予定では七月は二条陣屋訪問であると聞いてすぐに申し込みました。二十人ぐらいの参加者があり、その中には懐かしい友人の笑顔も見られました。熱心に説明を聞いて感動した後はホテルでとても経済的でおいしいランチを頂きました。おしゃべりも楽しみ教養も身に付きその上激安のお食事も出来て大変有意義な半日でした。

その他に日文研の委員が企画されたのは、狂言、俳句勉強会、香道、百人一首、高台寺見学と京都の文化の薫り高く、素晴らしいものばかり。月に一度の事ですので、毎月楽しみにして参加してきました。特に鳩居堂での香道は得難い体験だったと、日文研に感謝しております。

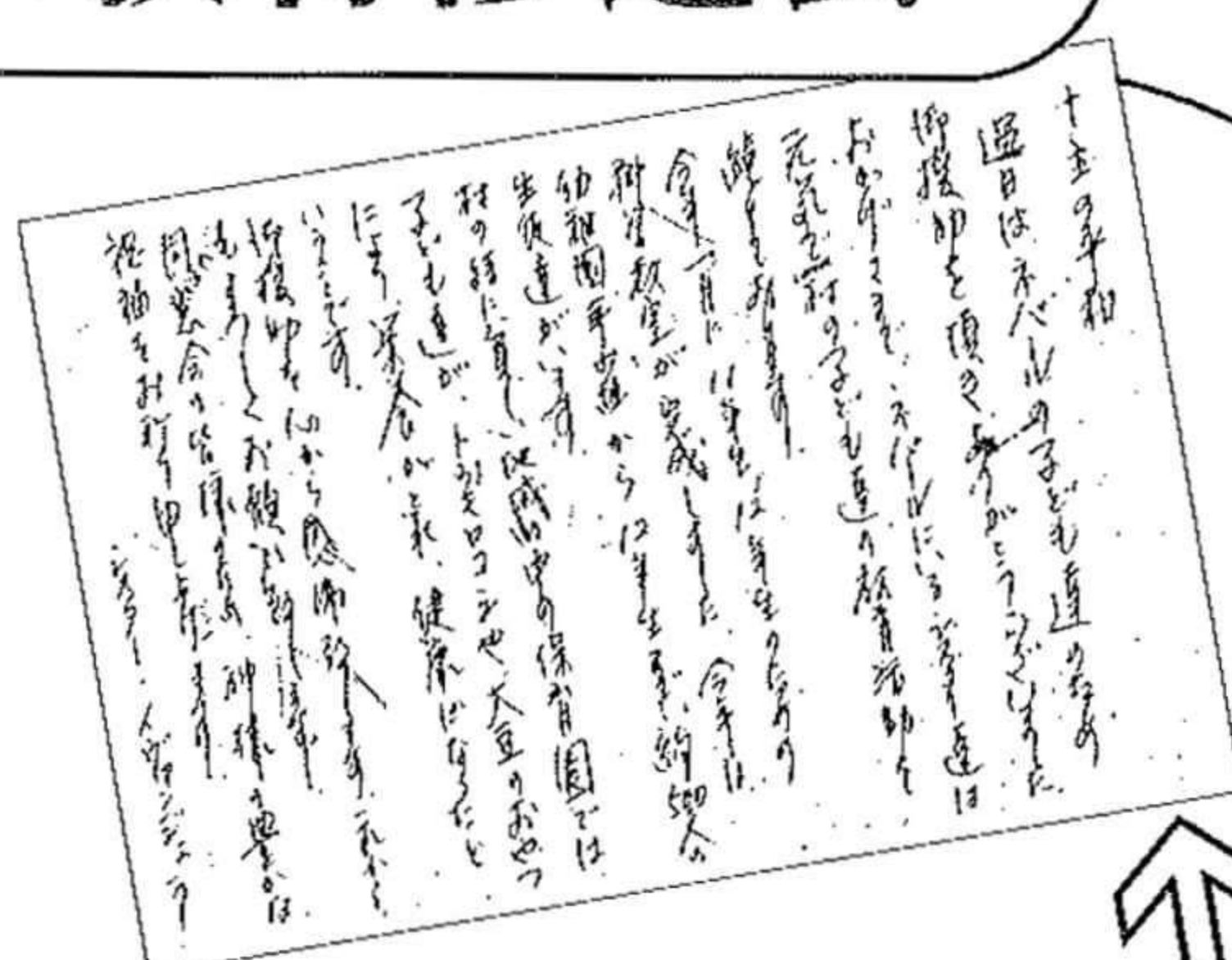
日本文化研究会平成12・13年度予定

- 6 / 12(月) 留学生とともに 宇治平等院
- 7 / 3(月) 妙心寺東林院
沙羅の花を愛でる
- 9 / 26(火) 大倉記念館 (月桂冠)
長建寺より十石船で川下り
- 10 / 24(火) 神護寺高尾 もみじの秋
- 11 / 28(火) 華道 クリスマスを生ける
4期 大田喜代子氏
- 1 / 23(火) 新年会 琴演奏
2期 大隅万佐子氏
日本舞よう
4期 桜井美智子氏
- 2 / 27(火) おひなさま茶会 連光寺
9期 森美都子氏
- 3 / 19(月) 香道 鳩居堂 熊谷京子氏
- 4 / 24(火) 相国寺瑞春院
- 5 / 22(火) 東大寺、二月堂、三月堂、奈良公園

**21世紀の国際社会に生きる
子供たちへ
私達は応援しています**



ノートルダム教育修道会



「笑顔に包まれ針を持つ」

19期 上村 浩美

私達は、手芸品製作をして売り上げをインド・ネパールへ寄付するため、月二回の活動を行っています。

初めて参加した時は、一人で不安な気持ちでしたが、今では楽しい雰囲気の中、手を動かしながら会話もはずみ、あっという間に時間が過ぎてしまいます。これがノートルダムという大きな輪の中にいるということなのかなと思っています。

私はミシンが得意ということではなく、針を持つことが好きということとノートルダムへの懐かしい思いから、手芸ボランティアの扉をたたきました。皆さんのお手伝いをしながら作品の完成を見ると、それだけでうれしい気分になることができます。

今、何か日常を変えてみたいと思っていらっしゃる方、一度見に来てください。いつの間にか笑顔に包まれ、針を持っている……扉を開けてお待ちしています。

★寄付金送り先
本部より御協力お願い！

○「インド友愛の手」事務局

郵便振替・〇一〇三〇一―三四八八九

TEL. 〇七五—七〇—
—七二一八

○「ネパールサポート」事務局

郵便振替・〇三〇一三九五九一二三

TEL. 〇七五—七〇一一八三四三

★オーブンハウス(10月26日木)・インド・ネパ―

ルバザーの為の寄贈品をお送り下さい

送り先 マリアンハウス

TEL. 〇七五—七〇一—九一四九

〒606-0011 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

京都ND女子大学40年の歴史を通して 女性の役割とは……

座談会

出席者

清水 由佳 (三回生英文)
岡田美和子 (三回生英文)
青木 佳奈 (三回生生活)
赤池富美恵 (10 E)
大同裕美子 (14 E)
田畑八千代 (6 C)
栗原 英子 (2 E)
大田喜代子 (4 E司会者)



収録

平成十一年十二月十八日

ユニソン会館同窓会室にて
一時間の収録よりその一部を抜粋。

大田 本日の出席者の中で、一番古い同窓生として当時のNDへの思いや印象はどうですか。

栗原 私の場合は中高大と一貫してカトリック精神のバックグラウンドに良妻賢母への道を学んだように思います。

田畑 当時ではまだ珍しいアメリカ的な教育を受けたと思います。レディーになる為に知識や教養を身に付けて、それを家庭や社会に活かしていくという教育をシスター方の中に感じました。たとえば男性のエスコートなしにダンスパーティーに行ってはいけなかったとか、車の乗り降りの時、ドアは人が開けてくれるまで待っているとか日本の生活感覚では考えられないような事を初めて聞きました。本当のレディーとは最も必要な時に何をする事が一番最善かを判断し、行動に移すことだと感じました。

赤池 カトリックの教えの影響を受けて多感な年月を過ごした、今もその恩恵は多いに受けていることを実感しています。

大同 在学中はNDの良さを実感しなかったが、社会に出て、同窓生を通してND精神が、心の故郷として感じることがあります。

大田 大学も変わりつつありますが、どういう思いで入学されましたか？

岡田 高校まで公立で、雰囲気的なもので圧倒されました。

清水 この大学の少人数制の良さを今実感しています。

青木 心にゆとりのある、ゆったりした雰囲気良かったのでこの大学に入った。いい意味で時間の流れがゆっくりしていて、物事を自分で切り開いていく雰囲気があった。

赤池 私は四国出身だったのですが、外国人が珍しい時代でしたが、寄宿舎にいたらお食事の時もベルを鳴らして皆でお祈りしてスタートしたり、アメリカ式マナーを教えていた。いて、主人と一緒にアメリカに行った時に気後れしませんでした。

岡田 インターネットを早くから採用して色々設備的に充実しているのが有難いです。きめ細かいサービスというかやる気を持って学べる大学にして欲しい。

青木 ただ私達の方が消極的になって来ている部分があると思うんです。やっぱり一人だけ飛び抜けてはいけないというか、皆一緒に飛べないとか、そういう感情が根付いているのは悲しいけれど、どうしてもある。

栗原 私達から見ると制服がなくなったというのは積極的に感じるんだけど、活発に動いている人は少ないというのはどういうことなのか？

岡田 制ぐつだけは残っています。珍しいことです。大学で上グッツがあるというのは何か女子大でいいんだなあと、そこにNDらしさがあるように思える多分、それが先輩方の言う制服にあたると。

清水 私がアメリカへ行って、色々な国の人達と授業の中で意見が出てくる中で、自分ひとりポケッとするしかなかったりして、日本に

「アクティビティ便り」

フランス語講座に参加して

瀬戸美奈子(2E)

学生時代には、結婚してすぐパリに住むとは想像もしなかった。阿部先生のフランス語を一年間しか受講しなかった。英語に力を入れていたので当時、発音や会話に苦勞の連続で帰国後は子育て、父親の看病で二十年がアッという間に過ぎた。

すでに開講されて一年が過ぎた頃、皆様の仲間入りをさせていただき、今は私が年長で33期生の方と机を並べ、少し緊張した楽しい時間を過ごしております。テキストはゆっくり進み、各学期5回というペースが私には程良く、阿部先生のお話が楽しみで、俳句や詩や文楽にまで話の輪が広がり、生涯の楽しみにしたいと思っています。

フランス語も昔と違って日常的になり、知っているのと理解も深まり楽しくなります。これからもう一度チャレンジしてみたいと思っています。いらっしゃる方は是非受講して下さい。

英文講読

中田記美江(7E)

私がこのクラスに参加させて頂くようになって、早や九年が過ぎようとしています。そして、クラスのお世話をさせて頂くようになって六年、その

間、一度も休まずに出席できた事を、とてもうれしく思います。学生時代、ほとんど勉強してこなかった私は、授業についていけず、授業が終わった後は頭痛すら覚えたことがありました。こんな私に、講師のシスターを始め先輩、後輩の方々が、やさしく励まし、なごやかな雰囲気の中で下さるのが印象深く有がたく思いました。

今まで、英米文学の域にとられず、様々な文学を読んできましたが、この一年は、オーヘンリの短篇集をやっております。質問や読後感など、一緒に読んで行く事によって理解が尚一層深まっています。

どうか文学講読の灯を絶やさないためにも皆様方の積極的な参加を希望してやみません。ぜひ一度、のぞいてみて下さい。

英会話サークル

中元可津美(18E)
萩原 道子(18C)

十数年間ずっと英語を話していない。大学を卒業して結婚し、子供ができてやっと少し手が離れたから、ちよっと同窓会の活動に参加してみたい。私達、英会話サークルのメンバーは、この様な人達の集まりです。同窓会館のマリアンハウスで、シスターや卒業生の方達にお会い出来るのを、毎回楽しみにしています。

今期は、シスターザビエルをお迎えして、メンバー七、八人位で活動しています。比較的簡単な英字新聞や、雑誌の記事をコピーして各自が持ち

帰って来たらそういう空気があるじゃないですか……教育の流れに乗って来て、就職活動をしなくてはならない時になって、はじめで自分は何をしたいのだろうと色々考える。

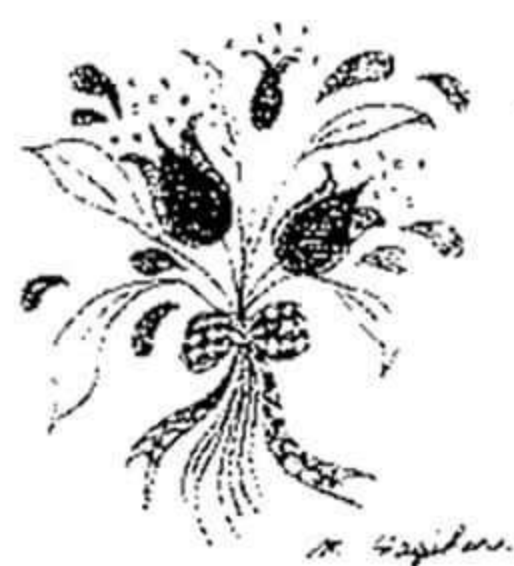
大同 卒業して20年、まだ子供に手がかかるのですが、家庭にいるのはまちがっていることではないのですが、最近英会話の勉強を一生ものとして、始めました。

田畑 自分が人生のちょうど半分にくた、これから先は、どうしようかと迷った時は、する方に行こうと思って……。

大田 同窓生の先輩の皆様もそれから大学生の皆様も、新しい活動にどんどん挑戦していただきたく思います。

大学がより発展していくことで同窓会の活性化、活発化が出来ると思います。私達もまけずに頑張っていきたいと思っています。

帰り、次回までに予習して、その内容について話し合います。時にはシスターを中心に、お菓子とお茶をいただきながら日常生活、各自の趣味、子供の事などについておしゃべりもします。シスターは、とても明るくフレンドリーな方で、いつも楽しいクラスです。ちよっとマリアンハウスをのぞいてみたいと思われる方、ぜひ一度いらして下さい。心より、お待ちしております。



今も元気なワンダーフォーゲルクラブ



五十嵐園子(一E)

京都ノートルダム女子大学も創立38周年を迎えることになりました。嬉しいことに、私が仲間と一緒に開学と同時に設立したワンダーフォーゲルクラブは今も健在です。部員は大学卒業後はワンゲルO・G会に属し、O・G会員どうしとは勿論、現役生ともずっと交流を計っている唯一のクラブというのが私たちワンゲル部員すべての誇りでもあります。現役生はとうとう息子や嫁より若くなり、そのうち孫と同じ年代になりそうな勢いですが、最長老として集会で、またあるときは山歩きしながら、私の人生失敗談を披露したりしています。熟年会員も負けずに豊富な子育て失敗談と少しの成功談に花を咲かせては盛り上がり、最後には必ずワンダーフォーゲル部に入ってよかったという事で締めくくることがあります。

私は6年前から国際ボランティアのNGOのひとつである大阪ラテンアメリカの会に属しペルーの経済困窮者の定住地域にでかけ、会員がスペイン語に翻訳し印刷した日本の算数ドリルを

直接子供たちに手渡し贈る活動をしています。ペルーの首都リマ郊外の荒涼たる地に住む人々や雄大なアンデス山脈や摩訶不思議なインカの遺跡などにふれるたび、ワンゲル部員にはありきたりの観光旅行はやめて、世界各地の日本とは違った美しい自然や習慣のなかで、色々困難な生活を強いられ、彼等から頂けるものがあればしてあげ、彼等から頂けるものがあれば有難くしようだ

いする」という行動をとりました。ワンダーリングを勧めたと思うようになりました。そのような体験活動地としてペルーを紹介することは出来ませんが、あまりにも遠い国なのでアンデス山脈から世界最高峰ヒマラヤ山脈に目を転じネパールの山村にあるノートルダムスクールを訪れてみることを考えました。そこには同期の中村美保さんがシスターになり働いておられることも私をその気にさせ、昨年11月に梶田学長に同行して行ってまいりました。そこでは、可愛い子供たちや住人の方々に出会え、献身的に活動されているシスター方に感動し、多くの貴重な体験をさせて頂きました。少しはお役に立てる仕事をシスターが提案してくださいましたので、プランをたてはじめるところです。

私たちの大学も新学長を迎え『ルヌヴォー(再生)』を目指し頑張ってもらえるので私達ワンダーフォーゲル部もその勢いにのっかって一歩前進していきたいと願っています。

私の職業



西村 寛子(II E)

卒業して四半世紀、「あなたの職業は」との問に、私は何と答えるのだろうか。

この年令、男性ならキャリアを積んで実績を残し、社会的地歩を固めて充実の時、といったところだろう。私自身はといえば、幸いにも女子大で学ばせていただいた英語のお陰で、大学在学中より今日に至るまで絶える事なく後進の英語指導をさせていただき、現在はノートルダム学院小学校で教壇にまでたたせていただいている。その間に結婚をし、四人の子供に恵まれ、姑をおくった。結婚、子育てを通して経験し学んだ事の多くを英語を通して後進の方々に伝える機会に恵まれる、という幸せな二十五年間を過ごしてきたように思う。生活の為に仕事は職業ではないけれど、やりがいのあるこの仕事を私は精一杯の情熱をかけて続けている。

が、一方で妻であり母である立場を思う時いかほどの実績を積み上げてきたのだろうか。日常は、楽しい事も苦しい事も、気がつけば、時間のむこうに過ぎて行くけれど、女としての生き様は、子を持つ子供の人格という形で残されていく様に

悪妻のすすめ



鳥居 裕子(16E)

私は、子供五人と夫の家族など、十人家族で暮らしています。その騒々しさと毎日の慌ただしさは、ご想像に難くない事と思います。また、夫の家は貴船で料理旅館をしておりますので、結婚と同時に旅館を手伝っております。職業柄、自分の意志で休みを取ることは難しく、つい数年前までグチばかりこぼして暮らしておりました。

ところが、このマリアン紙上で以前から興味を持っていた、親業のインストラクターをされている秋田登茂子さんを知り、指導を受けました。ちょうどその頃、マリアンハウスでの書道教室を見学し、その楽しい雰囲気はどうしても通いたいと思いました。

それまで、家族の誰に対してもイエスマンだったのですが、親業を学んだことにより、相手も自分も大切にするコミュニケーションに心がけるようになり、教室に通いたいことも素直に話す事ができました。自分のしたいことをすることは、想像していたほど大変な事でも、不道德な事でもありませんでした。自分に良い妻、良い母、良い嫁を勝手に想像して押しつけていたのでしよう。案外人間は、自分で作ったオリからは、出にくいのかも知れません。今は、自分が楽しくなければ、家族を楽しくすることなんてできないわ、とうそぶいて一人旅まで楽しんでいます。

国際交流ボランティア

*週末ホストファミリーをしてみませんか。

同窓会では、米国姉妹校からの留学生のホストファミリーのお手伝いをしております。今年で三回目になりますが、五月二十五日から六月二十一日まで母校で『日本語・日本文化』を学びます。週末ホストファミリー(六月九日(金)午後から六月十一日(日)夕食まで)を探しております。興味のある方は、ご一報ください。

連絡先 マリアンハウス TEL (〇七五) 七〇一―九一四九

国際交流ボランティア係

思われる。四人の我が子の今を思う時、それなり私の二十五年間が見えてくる。多忙を極め、何かにつけて中途半端と自己嫌悪に落ち入る事もあったけれど、しわ寄せを食っている当の子供達に支えられて続けてきた英語指導と、おかあさんであることの両立も、まんざらでもなかったな、と思えてくる。

「あなたの職業は」と問われたら、胸をはって答えよう。「平凡な主婦です。」と。

マンドリンクラブ第30回定期演奏会
ご成功おめでとうございます

麻生 育子(19C)

私達が現役の時と違い、少人数でしかも四回生がいらないのに、あれだけの大曲を弾きこなすのは大変な努力の賜物に違いないと思います。遠方に住んでいるため京都を訪れる機会がありませんが、五年に一度は定期演奏会のOG合同ステージに参加することを口実に来ることができそうですし、懐しい顔に会うことができるのも楽しみの一つです。今回もみんなと五年後の再会を約束しました。

石角 明美(19E)

練習を通してのよき仲間、先輩、後輩との出会いも、かけがえのないものでした。卒業してから十八年たった今回も、京都で演奏する事に加えて、彼女達に会える事も楽しみでした。長年にわたり、顧問としてクラブを支えてくださっている木原先生、コーチの先生方に深く感謝しております。

支部だより

中部支部



支部長 石田 章子 (3E)

「あと半分」

お役を受けて一年、「アッ」と言う間に過ぎてしまいました。一月の学年委員会に始まり、五月春の行事（押し花の額作り）夏盛りの中での新聞作り、そして十一月の支部総会。どれも不慣れな事ばかりでしたが学生時代にはお会い出来なかった方とも親しくお話し出来「友の輪」が広がり楽しい一年でした。

支部総会は六期生が幹事をして下さり、役員交代のない年と言う事で会員のみが「なばなの里」で集いました。ベコニアガーデン・ハーブ園・日本庭園等を有する花一杯の敷地を皆さんと散策して穏やかな一日を過す事が出来ました。

「あと半分」の来年も本部役員の方々を始め支部会員の皆様の御協力と御支援を頼りに微力ながら同窓生の輪が広がって行く様に努力していきたいと思っています。

中部支部役員

支部長	石田 章子 (3E)
副支部長	村井 弘子 (5C)
書記	木田 幸子 (7E)
会計	佐々木与志子 (12E)
会計監査	鳥澤 佳代 (5C)



関東支部



支部長 芝 桂子 (12E)

会計 坪井 康子 (12E)
勢一 令子 (12C)

「人生の折り返し地点を過ぎて」

人生八十年と言われる現代。私と同年令の方々は人生の半分を過ぎたことを実感しておられるのではないのでしょうか。

と言うのも、そろそろ、子育ても終わりに近づき、ふと、自分自身の生き方を、過去・現在・未来と反省やら希望やらを見つめる年代に置かれているようです。そして、四十才も過ぎたところから、何か今まで見えなかったことも見えてくる世代なのかもしれません。

その時に若い頃からの積み重ねの結果や家庭を持ったり、社会人として生きてきて、成長したことを実感したいものです。

大学時代におつき合いいただいた友人と同窓会などで何年ぶりに出会った時、その間の二十年以上の年月にそれぞれがそれぞれの分野で成長できたことを確信できれば、またすばらしい出会いになると考えます。

ステキに年を重ねたいものです。

マリアンハウス報告

マリアンハウス運営委員会からのお知らせ

本年度で特記すべき報告は、マリアンハウスの事務室に新しいコピー機を購入したことです。ゼロックス社の最新型で、名簿管理や文書のコピー等の作業がよりはかどるようになりました。購入費用は、マリアンハウスの建設時に皆様からいただきました寄付の残金を使わせていただきました。

さて、本年度も、マリアンハウスでの一日講習会を同窓会アクティビティー欄に掲載されているように計画しておりますので、お誘い合せの上多数御参加下さい。

尚、当マリアンハウスは次の八名の委員によって管理運営されています。

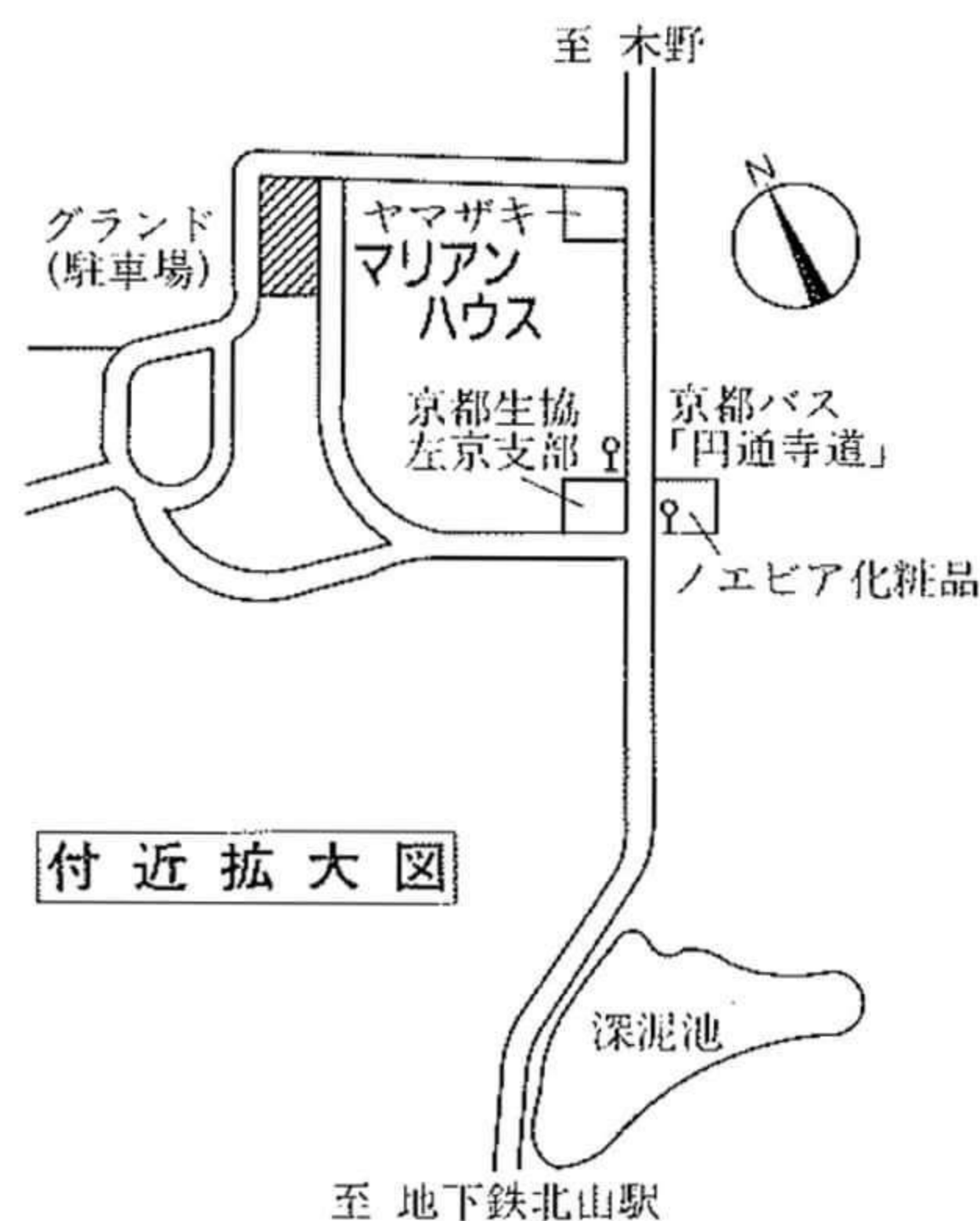
御意見、御質問がありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。

中島 克子(1E) 久萬田澄子(1E) 服部 万里(2E) 林 満智子(3E)
高山 敦子(4E) 伊吹 佳子(5E) 西村 晶子(5E) 米井 慶子(8E)



会計報告 (平成11年2月1日～12年1月31日)

収入：前年度繰越金	755,536	支出：NHK受信料	27,480
同窓会本部	2,000,000	水道光熱費	218,691
受取利息	10,590	通信費	117,287
宿泊費	62,500	保険料	107,500
定期預金解約	1,000,000	施設管理費	1,120,356
雑収入	31,221	設備費	588,160
	3,859,846	文具消耗品費	61,247
次年度繰越金の内訳		イベント費	291,752
普通預金：	655,417	雑費	24,191
現金：	88,875	会議費	40,855
定期預金：	3,500,000	支払手数料	4,935
(予備資金)		宿泊費用(クリーニング)	13,100
運営委員会会計		定期預金	500,000
伊吹 佳子		次年度繰越金	744,292
西村 晶子			3,859,846



使用出来る日時

月、水、金の十時am～三時pm
但し、右記の日時以外でも相談に応じます。

休館日

三月二十日～四月十日
八月十日～八月二十日
十二月二十日～一月十日

使用料(冷暖房費込み、台所使用可)

10:00am～3:00pm	
二階和室 八畳	一、五〇〇円
二階和室 六畳	一、五〇〇円
二階洋室	一、五〇〇円
一階ホール	三、〇〇〇円

宿泊について(冷暖房付、台所・浴室使用可)

宿泊料 一泊一名 三、五〇〇円

収容人数 十名

チェックイン 三時pm～五時pm

チェックアウト 十時amまで

申し込み方法

二週間前までにマリアンハウスに電話あるいはFAXでお申し込み下さい。

キャンセルは五日前までにご連絡下さい。それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

マリアンハウス

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

電話番号 〇七五(七〇二)九一四九

FAX 〇七五(七〇二)九一四九

→→→→→ 同窓会 アクティビティー ←←←←←

クラス	講 師	内 容	場 所・日 時	責 任 者
英文雑誌 の 講 読	シスター セリン松本	タイム誌などによる現代問題等の 英文和訳と内容についての討論 (日本語で行われる)	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月26日より開始	立花系り子(9E)
聖 書	シスター セリン松本	日常生活に関連しながら聖書を読 みます	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00 5月26日より開始	家村 悦子(4E)
英 会 話	シスター モリーン	楽しい英会話	ND大学ユニソン会館 同窓会室3階 第2・第4月曜日10:30~12:00 5月8日より開始	玉岡 慧薇(22E) 堀野 倫子(22E)
書 道	寺田九絲	書道具持参	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00 5月19日より開始	林 満智子(3E)
仏 語	阿部哲三	能力に関係なく楽しい授業です	ND大学ユニソン会館 同窓会室(3階) 第1・第3火曜日10:30~12:00 5月16日より開始	伊吹真由美(14E)

手芸ボランティア	手芸品製作(売り上げ金はインド ・ネパールへ寄付)	マリアンハウス 第1・第3金曜日10:00~15:00 5月7日より開始	来田村幸子(6E)
----------	------------------------------	--	-----------

日本文化研究会	歴史の舞台を歩きます	現地集合 第4火曜日 10:30~15:00	河智 泰子(1E) 大田喜代子(4E)
---------	------------	---------------------------	------------------------

マリアンハウス カルチャープログラム	H12年 5月10日(水) お化粧講習会 6月14日(水) ガーデニング 7月24日(月) ローケツ染め 9月13日(水) サンドブラスト(ガラス皿) 10月26日(水) オープンハウス(チャリティバザー) 11月13日(月) ポーセリン(陶磁器絵付) 12月11日(月) クリスマスリース H13年 1月24日(水) 新作法(現代マナー教室より) 3月12日(月) ケーキ作り 4月16日(月) ステンドグラス	詳細は マリアンハウス (075)701-9149 までお尋ね下さい
-----------------------	---	---

＜中部支部＞

聖書クラス	シスター セリン松本	聖書の読んだ箇所の各人の感想と シスターの解説	みこころセンター(052-971-0334) 地下鉄 桜通線、名城線 久屋 大通下車 (2番出口より北へ徒歩3分) 第2金曜日 10:30~12:30 祭日は休講	加藤真理子(2E)
-------	---------------	----------------------------	--	-----------

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。
 ※各クラス参加費は学期毎に1,000円。(但し聖書クラスは除く)
 ※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送り致します。
 ※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

キリスト教文化研究所春の講演会のご案内
 日 時：5月26日(金) 4:40 ~ 6:10pm
 講 師：大庭聖美(ブルトニウム・アクション・ヒロシマ代表)
 テーマ：友原隆について(具体的な演題は未定)

計 報

御冥福を心からお祈
り申し上げます。

前田 充子様(19E)

H11・2・11 帰天

田中みどり様

(旧姓谷垣15C)

H11・3・28 帰天

坪香利佳子様

(旧姓小島6E)

H11・9・20 帰天

大川戸英子様

(旧姓松本18E)

今井喜代子様

(旧姓福富3E)

H12・1・5 帰天

編 集 後 記

マリアン30号を皆様におとど
ける季節になりました。この
一年の課題は成長して行く新し
い京都ND女子大学の姿を樂し
いよみ物として皆様にお伝えす
ることでした。

快く取材に応じてくださった
方と私達をささえてくださった
方にお礼申し上げます。

広報 栗原 英子(2E)

大田喜代子(4E)